

テーマ：被害と加害を防ぐ家族と少年のサポート・システムの構築

—相談窓口における支援の方向性—

【はじめに】

私たちは、平成21年秋より、社会技術研究開発事業の研究開発プログラム「犯罪からの子どもの安全」の研究開発プロジェクトとして、「被害と加害を防ぐ家族と少年のサポート・システムの構築」をテーマに研究を行ってまいりました。

特に生物学的な脆弱性のある発達障害・知的発達の少年は、被害を受けやすく、その被害が触法リスクに結びつきやすいといわれています。しかし、こうした知見を実際の少年達の加害や再犯予防に活用していく取り組みは十分ではありません。少年たちの被害を予防し、非行や犯罪、再犯を予防していくサポート・システムを構築していくことが必要であると思われま

す。これまで、本プロジェクトでは、このサポート・システムの構築に向け、まずは加害少年の心理的メカニズムなどを明らかにするため、医療機関や矯正施設において調査を行ったり、地域でのサポート体制を充実させるための研修プログラムの開発も進めてまいりました。また、実際の相談窓口の準備を進め、平成22年度より外来相談窓口を開設する運びとなりました。このセミナーでは、サポート・システムの構築に向けた私たちの取り組みについてお話をさせていただきます。

【主なプログラム】

- | | |
|-------------|--|
| 15:00~15:30 | 本企画の説明 辻井正次（中京大学教授） |
| 15:30~16:30 | 「触法少年のサポート・システムとサポート・プログラムの開発に向けて」
辻井正次 |
| 16:30~17:30 | 「矯正施設の入所少年に関する加害と被害について」
堀尾良弘（愛知県立大学准教授） |
| 17:30~17:45 | 休憩 |
| 17:45~19:00 | 「国内外での先進的な取り組みに関する報告」
望月直人、瀬野由衣、林陽子（浜松医科大学助教） |
| 19:00~20:00 | 「コミュニティでの研修プログラムの開発に向けて」
笹竹英穂（至学館大学教授） |
| 20:00~20:05 | 終わりに 辻井正次 |

【日時】2010年5月28日（金）

15:00～20:00（受付開始14:30～）

【会場】名古屋市公会堂 4階第7集会室

住所：〒466-0064 名古屋市昭和区鶴舞一丁目1番3号

TEL：052-731-7191 FAX：052-731-7149

HP：<http://www.nagoyashi-kokaido.jp/>

【参加費】無料

【定員】最大150名

（事前申し込みは必要ありません。先着順とさせていただきます）

【問い合わせ先】

浜松医科大学子どもこころの発達研究センター

セミナー専用E-mailアドレス：kodomonokokoro2010@yahoo.co.jp

【主催】浜松医科大学子どもこころの発達研究センター

【共催】中京大学現代社会学部辻井研究室、特定非営利活動法人アスペ・エルデの会、
至学館大学健康科学部笹竹研究室

【アクセス】

- ・地下鉄鶴舞線「鶴舞駅」下車 4番出口 徒歩2分
- ・JR中央線「鶴舞駅」下車 徒歩2分
- ・市バス「鶴舞公園前」下車 徒歩3分

